

※ 全市町村への聞き取り（令和5年11月～12月実施）及び市町村学力向上アクションプランから

学校における取組みの一例

アクションプランの活用について

- 全教員によるプランの計画立案・共有
 - ・全教員で全国学調の問題を解き、出題の趣旨を把握し、「育成を目指す資質・能力」や「必要な指導・取組み等」について共有を図っている。
- 定期的な検証・改善
 - ・定期的に全教員によるアンケートを実施し、指導の方向性を再確認している。
- 学校運営協議会での共有
 - ・日常的な学力向上のための実践について、学校運営協議会で取組みの重点として報告している。



研究体制づくりについて

- 協働的に深める授業研究
 - ・市町村教育委員会作成の「学習の手引き」に基づき、授業の実践計画を立てて、校内の教員で内容を共有している。
- 小中合同研究会の実施
 - ・中学校区ごとに校内研究等を小中合同で推進し、アクションプランの内容についても情報交換している。
- 学校独自の評価問題の作成
 - ・学校独自に全学年分の評価問題（算数）を作成し、教員全員で身に付いた力や課題等を把握し、支援・指導に生かしている。

市町村教育委員会における取組みの一例

指導改善のためのリストの作成・活用

- ・作成した「チェックリスト」を全国学調等の結果を踏まえて改訂している。

域内共通学力調査の実施

- ・調査結果を一人一台端末のAIドリルに反映させ、一人ひとりに応じた学び直し等に生かしている。
- ・域内の児童生徒の実態に応じ、「リーディングスキルテスト」の実施・検証を行なっている。

中学校区ごとの小中合同部会の設置

- ・9年間を見通した育成すべき資質・能力の共有化を図るとともに、学区カリキュラム・マネジメント表を作成している。

小:「放課後学習支援員」

中:「学力向上アドバイザー」の派遣

- ・長期休業等に学習会等を実施し、基礎・基本の充実を図っている。



家庭学習の充実に向けた取組み

- ・家庭学習も含めた学習の手引きを作成し、周知を図っている。
- ・家庭学習の手引きの見直し及び、児童生徒のタブレットでも活用できるように、デジタルアーカイブ配信に向けて準備を進めている。

児童生徒の算数・数学における基本的な知識・技能を高めるための取組み

- ・「算数指導資料集」及び「定着確認評価問題」を作成し、活用を進めている。
- ・学習意欲の向上を目指し、算数・数学検定の受検料を補助している。

児童生徒の英語力を高めるための取組み

- ・中学1年生を対象に、「話す・聞く」力の育成を目指し、ALTを活用した講座を開いている。
- ・主に語学力の育成を目指し、「イングリッシュキャンプ」「オンライン英会話教室」等を開催している。
- ・英語教育推進計画に基づき、域内小中学校交互に授業参観を行ったり、実態分析による重点を作成したりするなど英語教育を推進している。

これからの取組みに向けたポイント

学びを深める ICTの活用

【県内の状況】

- 授業でのICT活用頻度が増えている。
- 端末を持ち帰らせる学校が増えている。
- すべての市町村で学習アプリが導入されている。



実践的な 英語力の育成

【県内の状況】

- 英語が役に立つと感じている生徒が多い。
- 地域のことを外国人に伝えたいと思う生徒が多い。
- 授業以外で英語に触れる機会が少ないと感じている。



スタディ・ログ等のデータも活用しながら、学習の進め方（学習計画、学習方法、自己評価など）を児童生徒が自ら調整することができるような授業の改善及び家庭学習の充実を図る。

学校の授業以外で英語に触れる機会や、外国人と会話する機会を創出することで、英語の苦手意識の軽減や英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。